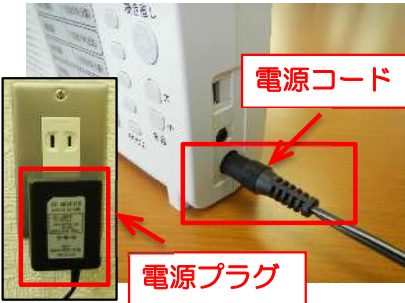


京都市防災ラジオの使い方（簡易版）

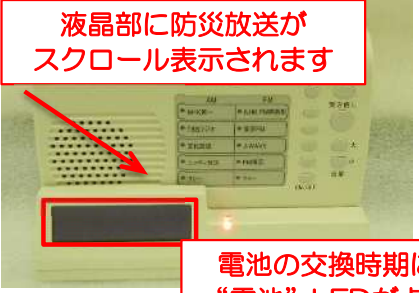
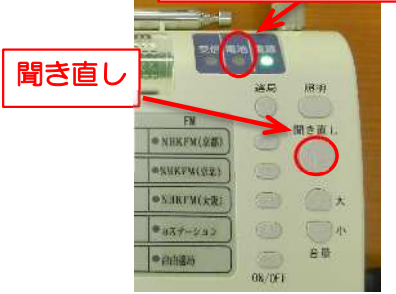
【表】

1. ご利用前の準備

NO.	方法	画像写真
①	乾電池を入れます 本体裏面に乾電池（3個）を差し込み、ふたをします。 ※乾電池の向き（⊕と⊖）をご確認ください	 乾電池
②	防災アンテナを取り付けます 本体右上部に付属の防災無線用アンテナを取り付けます。 ※少し押し込みながらネジを廻します	 防災無線用アンテナ
③	電源コードを差し込みます 本体右面の一番下にある差し込み口に付属の電源コードを差し込みます。 ※反対側の電源プラグは、ご家庭の電源コンセント（AC100V）に差し込んでください	 電源コード 電源プラグ

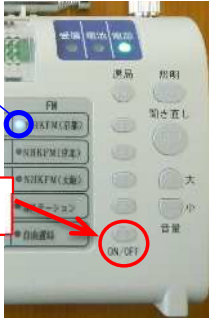
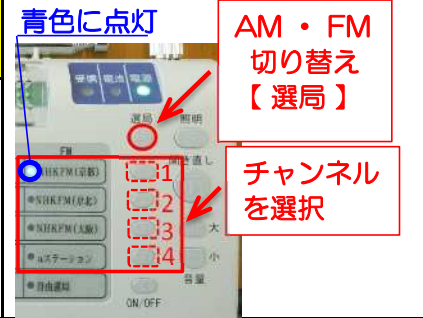
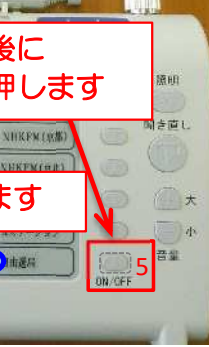
※ 非常時のために、通常時は必ず電池を入れ電源コードで電源供給してください。
電池だけの場合は新品電池でも3日程度で電池消耗いたします。

2. 防災放送を受信した場合

NO.	方法	画像写真
①	防災放送受信時には自動で切り替わります AM・FM放送を聴いていても自動的に防災放送に切り替わります。 ※電源コードを接続しているかまたは、乾電池の寿命があるかをご確認ください（電池の交換時期になると“電池”LEDが点滅します。）	 液晶部に防災放送がスクロール表示されます
②	聞き直しの仕方 聞き直しスイッチを押すと、最後に受信した防災放送を繰り返し聞くことができます。 ※電源コードと乾電池を両方外すと、受信・記録した防災放送は、全て消えますのでご注意ください	 聞き直し
③	防災放送受信時の音量に関しまして 防災放送は通常より大きな音量で流れます。 終了すると防災放送受信前の音量に戻ります。	

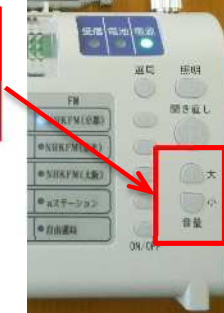
裏面につづく

3. AM・FM放送を聴く場合

No.	方法	画像写真
①	電源を入れます ON/OFFスイッチを押します。 ※電源が入っている間は、局名の左横にあるランプが青色に点灯します	青色に点灯 【ON/OFF】 
②	登録チャンネルを選局する方法（AMまたはFM放送） 選局スイッチを押すと、AMとFMが切り替わります。 次に、【1】～【4】スイッチを押して登録されたチャンネルを選択します。 ※選択された局名の左横にあるランプが青色に点灯します	青色に点灯 AM・FM切り替え【選局】 チャンネルを選択 
③	未登録チャンネルを設定・選局する方法（AM・FM） 【5】を押すと、自由選局の左横にあるランプが青色に点灯します。 再度、数秒間【5】を押して手を離すと、受信可能な局が自動設定されます。次回から【5】を押すと設定した局を選局します。 ※別の放送局を設定したい場合は、もう一度同じ操作をして下さい	設定 【5】を選択後に【5】を数秒押します 選局 【5】を押します 青色に点灯 

4. その他

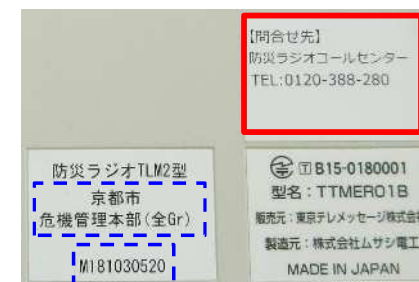
【裏】

No.	方法	画像写真
⑩	照明機能の使い方 照明を押すと、正面のライトが光ります。 ※もう一度、照明を押すとライトが消えます	ライト光ります 【照明】 
⑪	音量調整の仕方 音量スイッチ（大）（小）を押すと音量調整ができます。	音量【大】【小】 

【問合せ先】 防災ラジオコールセンター

電話：0120-388-280

最初に、防災ラジオの本体背面シールの【京都市+地区名】と【番号】をお伝えください。



- ◎AM・FM放送は、本体上部のFMアンテナ（銀色アンテナ）を伸ばしたり、本体の方向調整をして受信状態が最も良くなるようにして下さい。
- ◎ラジオ本体の置く場所を工夫する事で受信状態を改善できる事もあります。
- ◎その他の詳細事項は取扱説明書をご覧ください。

原子力防災の手引き

原子力災害の影響

原子力発電所で事故が起きた場合は、周辺地域に放出された放射性物質に汚染されたり、放射線を受けて被ばくするおそれがあります。



『被ばく』と『汚染』の違い

『被ばく』とは放射線を受けることで、放射性物質が皮膚や衣服に付着した状態を『汚染』と言います。

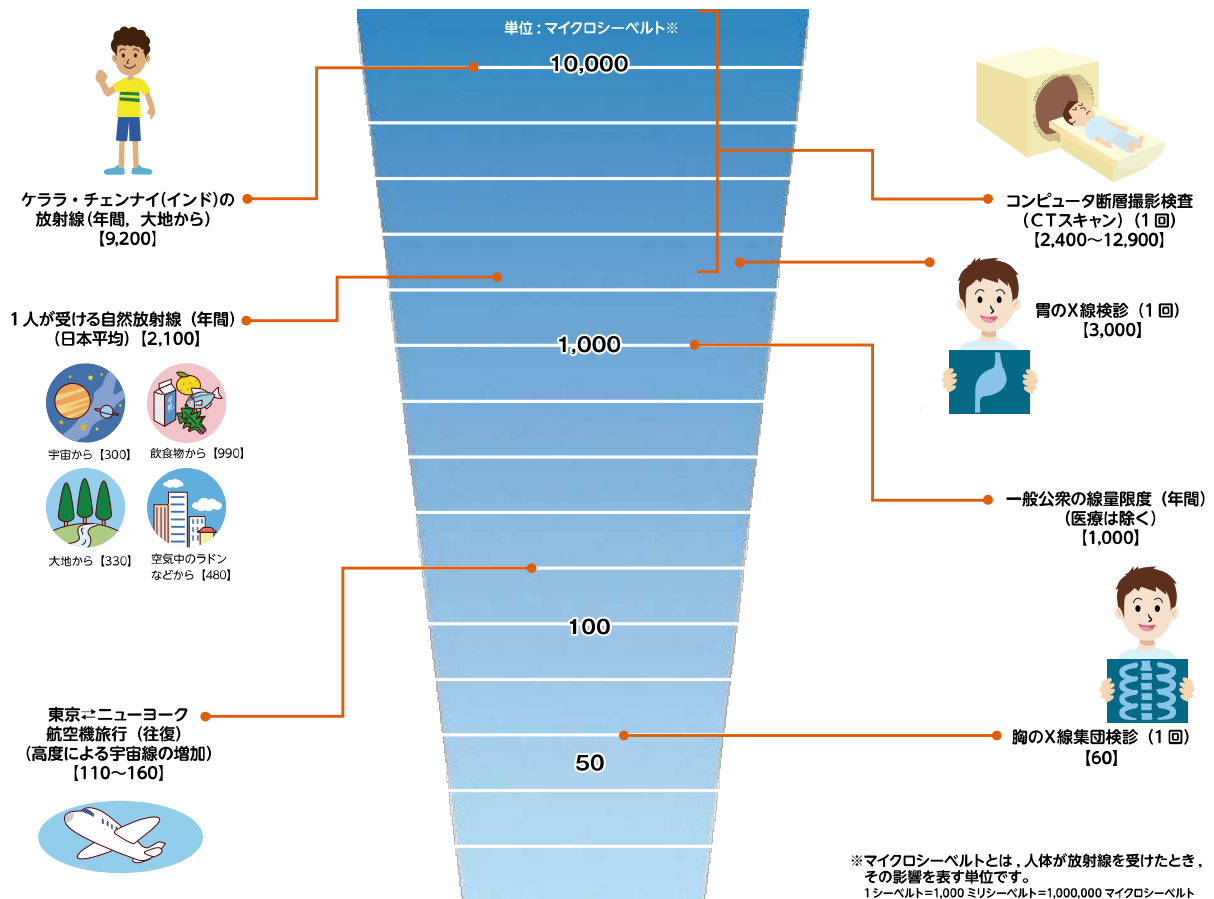
『外部被ばく』と『内部被ばく』について

『外部被ばく』とは、身体の外部から放射線を受けることです。

『内部被ばく』とは、人が呼吸や飲食物から体内に取り込んだ放射性物質から、体内の組織や臓器が放射線を受けることです。

① 日常生活と放射線

私たちは生活の中で、大地や飲食物などにもともと含まれている放射性物質から放出されたり、宇宙から来る放射線を少しずつ受けています。また、病気の診断や治療等で受ける放射線もあります。放射線は体の細胞などを傷つけますが、私たちの体はその傷を修復する仕組みを持っており、日常生活や医療で受ける程度の放射線では、健康に影響が出ることはありません。



(環境省「放射線による健康影響等に関する統一的な基礎資料 (平成 30 年度版)」) をもとに作成

② 原子力発電所と原子力災害対策

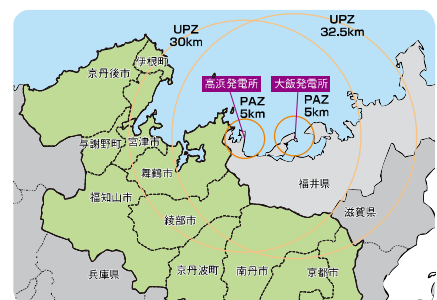
(1) 京都市に近い原子力発電所

京都市に最も近い原子力発電所は、関西電力㈱の大飯発電所です。京都市は国の原子力災害対策指針や放射性物質拡散予測の結果を参考に、大飯発電所の半径32.5km圏内を含む地域をUPZ※とし、市民の皆さんの生命、財産を守るために策定した、「京都市地域防災計画 原子力災害対策編」において、様々な防護措置を定めています。

また、万一、大飯発電所と同社の高浜発電所で事故が発生し、住民の避難が必要になった場合、京都市は舞鶴市からの避難者を受け入れることになっています。

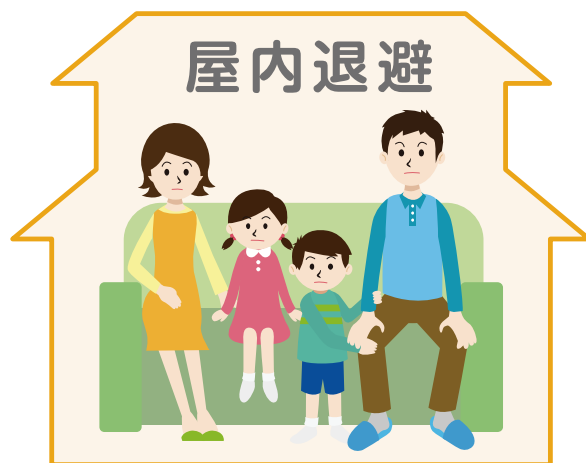
※UPZ Urgent Protective action planning Zone の略で「緊急防護措置を準備する区域」のことをいいます。(左京区:久多・広河原地域 右京区:京北上弓削町の一部)

PAZ Precautionary Action Zone の略で「予防的防護措置を準備する区域」のことをいいます。(京都市に該当区域はありません。)



(2) 被ばくを避けるために～原子力災害対策の基本的な考え方～ ◇◇

被ばくを避けるためにとる行動のことを「防護措置」といいます。防護措置には、次のような種類があります。（必要な防護措置は、原子力発電所の状況や放射性物質の拡散状況によって異なります。）



屋内退避（＝建物の中に入る）

「屋内退避」することで、放射性物質の混ざった空気を吸い込むことによる内部被ばくを防ぐとともに、放射性プルームからの外部被ばくを軽減します。

UPZ内の住民等は、大飯発電所が全面緊急事態※に至った場合には、予防的な防護措置として「屋内退避」を原則実施します。

※ 全面緊急事態 原子力施設において、公衆に放射線による影響をもたらす可能性が高い事象が生じた段階です。

※ この段階で、内閣総理大臣は原子力緊急事態宣言をすることになっています。

一時移転・避難

放射性物質等の放出源（原子力発電所等）から離れることで、被ばくの低減を図ります。緊急に実施することを「避難」といい、緊急ではないが、日常生活を継続した場合の無用の被ばくを低減するため、一定期間（1週間程度）のうちにその地域から離れることを「一時移転」といいます。

「一時移転」や「避難」の実施は、災害発生後の空間放射線量率の測定値※によって判断します。

※ 「一時移転」、「避難」の判断基準

- 一時移転：20マイクロシーベルト／時以上が持続する区域の住民等は、地域生産物の摂取を制限するとともに、1週間程度内に一時移転
- 避難：500マイクロシーベルト／時以上の区域の住民等は、数時間内に避難



大飯発電所で事故などの異常事態が発生すると、国、京都府、関西電力㈱から京都市に連絡があります。

UPZ地域では、市からの情報を防災ラジオ・屋外スピーカーでお知らせします。その他、テレビ、ラジオ、市のホームページなど様々な手段で、次のような情報を市民の皆さんにお知らせしますので、デマや風評に惑わされず、正しい情報に基づいて行動してください。

① 異常事態が生じた施設名、発生時刻、異常事態の内容

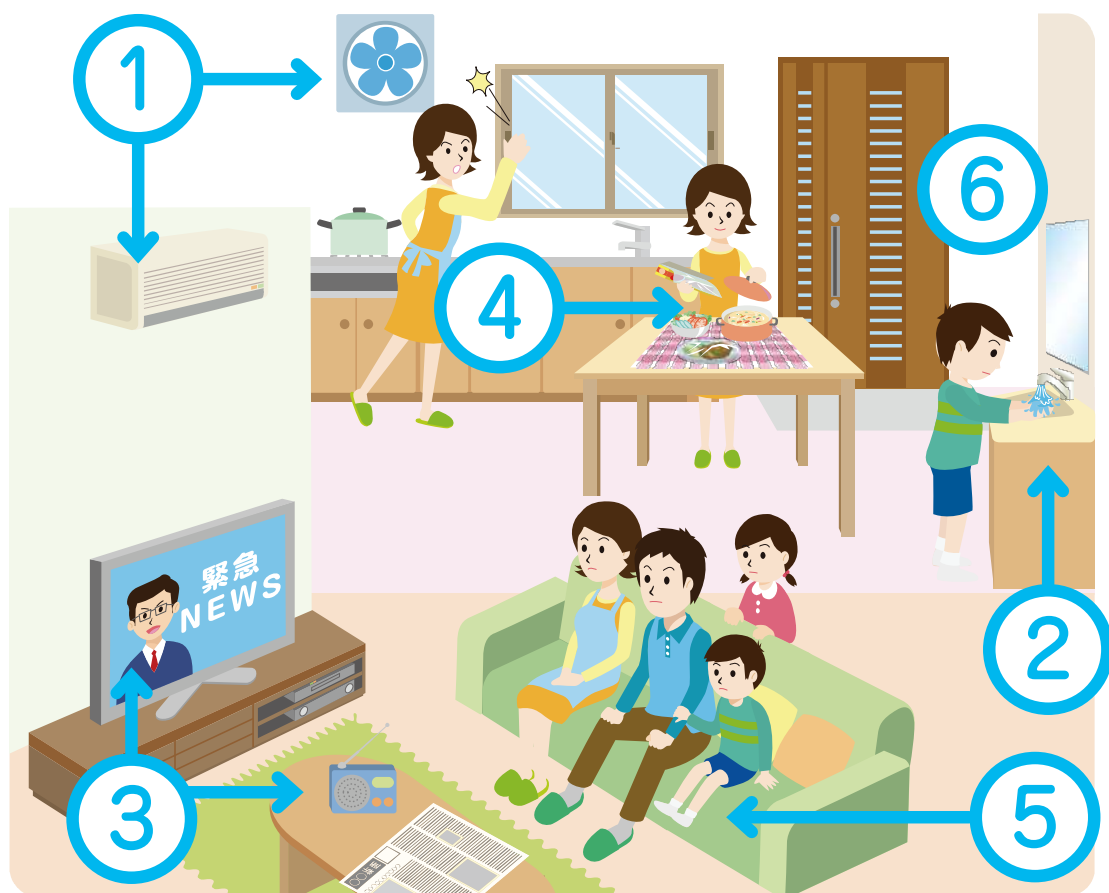
② 周辺環境状況（空間放射線量率の測定値など）及び今後の予測

③ 住民の皆さんにとっていただきたい行動（屋内退避、一時移転・避難）など

③ 災害時の行動

(1) 屋内退避

- 屋内退避することで、建物の気密性と遮へい効果により、放射線による影響を回避したり、低減させることができます。
- 市からの屋内退避の指示に従い、自宅など建物の中に入ってください。
- テレビ、ラジオ、市のホームページ等の情報に注意し、外出は控え、屋内退避を継続してください。
- 屋内退避の指示が出ていない地域の方も、情報に注意してください。



① 放射性物質を含む外気の侵入を防ぐ。
(窓、扉等すべての開口部を閉鎖し、換気扇を止める。)
※一般的なエアコンは外気を取り入れないので、屋内退避中でも使用できます。

③ 正確な情報を得る。
(テレビ、ラジオ、市のホームページ等から正しい情報を得て、デマや風評に惑わされない。)
※UPZ地域では、市からの情報を防災ラジオ・屋外スピーカーでもお伝えします。

⑤ 新しい指示が出るまで、落ち着いて待機する。
(一時移転・避難の指示が出たときに備え、非常時持出品、着用する衣類を確認する。)

② 外から帰ってきたら、身体に付いた放射性物質を洗い流す。
(着替えて顔や手を洗い、うがいする。)

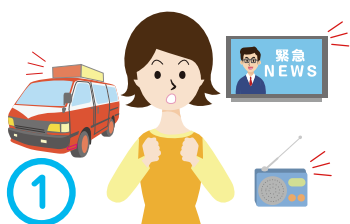
④ 屋内にあったものは飲んだり食べたりできる。
(食品にフタをしたりラップをする。)
※屋内退避は数日間継続することもあるので、日頃から食料や飲料水を備蓄しましょう。

⑥ 指示があるまで外出しない。

(2) 一時移転・避難

●一時移転・避難が必要になった場合は、市から指示します。UPZ内の地域では、避難時集合場所へ集合し、自家用車等に乗り合わせるなどして、避難所に避難してください。

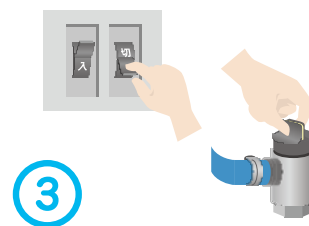
避難する際の手順等



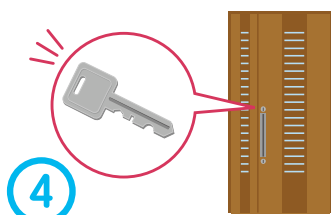
① 指示の内容をよく聞きましょう。



② 素肌を露出させないように、マスク、長そでの上着、長ズボン等を着用し、持出品を準備しましょう。



③ 電気のブレーカーを切り、ガスの元栓を閉めましょう。



④ 戸締りをしましょう。



⑤ とおり近所に声を掛け合いましょう。



⑥ 市の指示に従って避難しましょう。

高齢者、障害者、妊産婦、乳幼児などの
要配慮者への配慮

- ・要配慮者の避難を優先してください。
- ・避難中に健康状況を悪化させないように十分注意してください。
- ・処方薬やアレルギー対応食品などの必需品を持参してください。

●普段から、屋内退避のための備蓄品や、避難のための非常時持出品を準備しておきましょう。

●備蓄品や非常時持出品は、自然災害時とほとんど同じものです。

備蓄品・非常時持出品の例

貴重品など



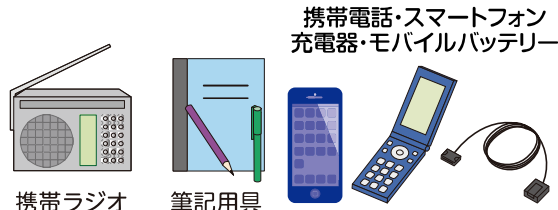
預金通帳
印鑑

お薬手帳・健康保険証

運転免許証

現金

情報を得たり伝えるもの



携帯ラジオ

筆記用具

携帯電話・スマートフォン
充電器・モバイルバッテリー

身の安全や健康を守るもの



懐中電灯

着替え
防寒具

傘などの雨具

予備電池

処方薬

乳児用ミルク

オムツ

生理用品

一時移転・避難時に着用するもの



マスク

帽子

手袋

フードのついた
ビニールカッパ

長そで、長ズボン

備蓄品



非常食
(アレルギー対応食品)

飲料水

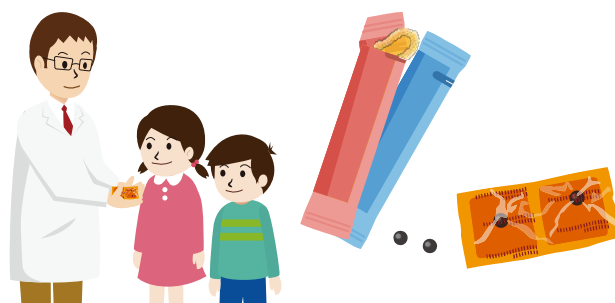
(3) 避難所までの流れ



Q1. 安定ヨウ素剤とは

- 安定ヨウ素剤は、放射性ヨウ素の吸入による甲状腺への内部被ばくを低減させるための薬です。（放射性物質に対する万能の治療薬ではありません。）
- 年齢が低いほど甲状腺の内部被ばくによる健康へのリスクが高いため、服用を優先すべき対象者は、妊婦、授乳婦、未成年者（乳幼児を含む）とされています。
- 避難又は一時移転が必要になった際に、国が配布や服用の判断を行い、市が対象地域の皆さんに配布します。（市が備蓄しています。）

対象者	服用量	
新生児	ゼリー剤	16.3mg
生後1か月以上3歳未満		32.5mg
3歳以上13歳未満	丸剤	1丸
13歳以上		2丸

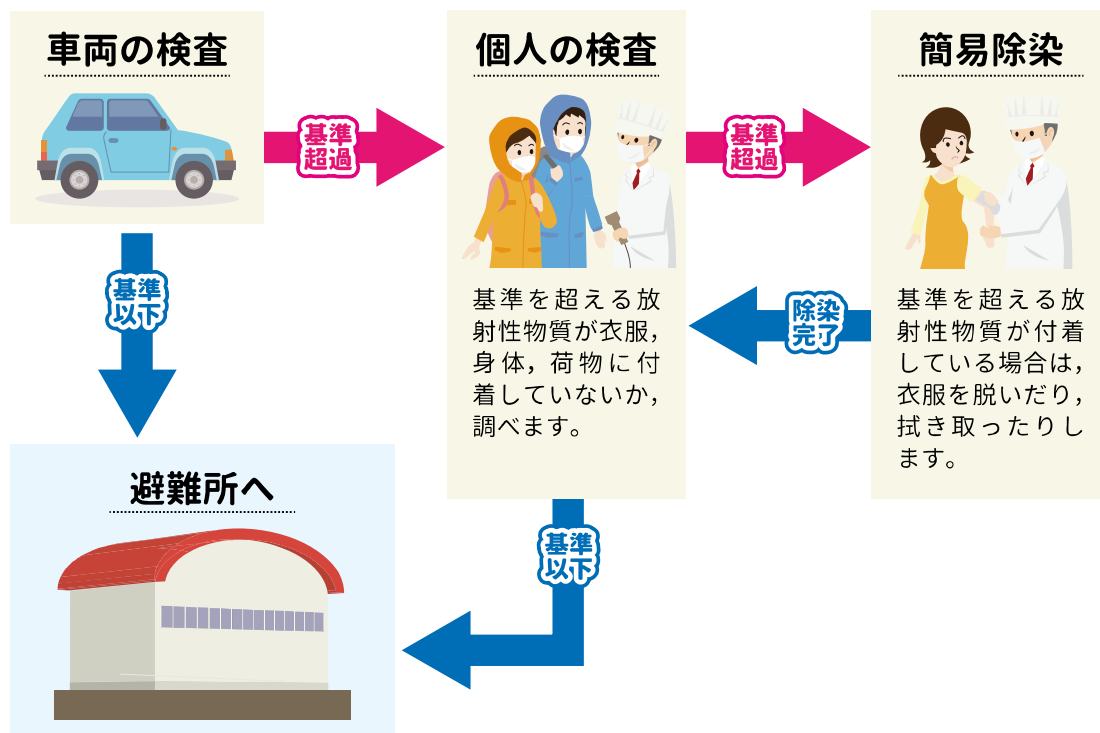


服用にあたっての注意事項

- 1回（適量）の服用で、安定ヨウ素剤により副作用が生じる可能性は、極めて低いとされています。
- ヨウ素（ヨード）に対する過敏症（アレルギー）のある方は服用できません。また、医療機関を受診されている方は、事前に主治医に安定ヨウ素剤の服用について相談しておきましょう。
- 適切なタイミングで服用しなければ効果が得られないため、国や市の服用の指示に従い、服用してください。

Q2. 避難退域時検査とは

- 避難所に向かう途中で、避難車両や避難者に放射性物質が一定基準を超えて付着していないかを確認します。



複合災害時の対応について

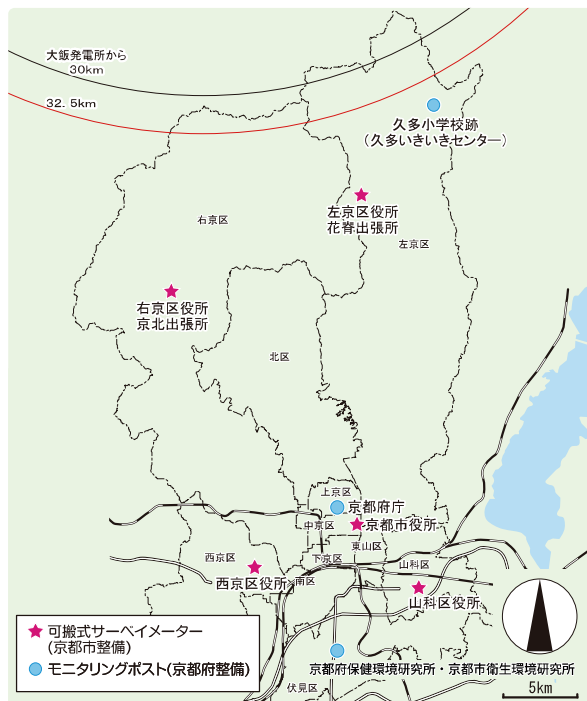
- 自然災害による人命への直接的なリスクが極めて高い場合には、まず自然災害に対する安全を確保し、その後に原子力災害に対する避難行動をとることが基本です。
- 大雨等により土砂災害や洪水の危険が高まった場合、土砂災害や洪水からの避難行動を優先します。指定緊急避難場所等、安全な場所に速やかに避難してください。
- 地震や余震により屋内退避の継続が困難な場合には、地震に対する避難行動を優先します。指定避難所等に避難してください。



④ 原子力災害への備え(平常時の取組)

環境放射線モニタリング

○事故の影響を正しく把握するために、平常時の環境放射線モニタリングを行います。



測定・検査項目	測定・検査の頻度等
①空間放射線量率 	固定式モニタリングポスト（3箇所）では連続測定 可搬式の測定器（5箇所）では毎週1回測定
②水道水 （原水や給水栓水） 	第2疏水取水口の水道原水、市内の給水栓水（3箇所）では毎月1回検査 地域水道・京北水域水道（5箇所）の給水栓水では3箇月に1回検査
③農産物 	市内産農産物を毎月1品目検査
④河川水・底質土 	6河川（鴨川，高野川，桂川，天神川，宇治川，小畑川）7地点で年1回検査

避難計画の作成・原子力防災訓練の実施

- 本市のUPZ各地域の住民の皆さんとともに避難計画を作成し、避難訓練を実施します。
- 舞鶴市からの広域避難に備え、受入体制を整備しています。

知識の普及・啓発

- 市民の皆さんに、原子力防災について知っていただくための広報活動を行います。
- 要配慮者の方々や男女双方の視点に十分配慮した防災知識の普及・啓発に努めます。

防護資機材や測定機器の整備

- 被ばくから身を守るための安定ヨウ素剤や、放射線量を測定する機器などを整備しています。

防災業務を行う人材育成

- 防災業務関係者の人材育成や研修を行います。

⑤ 原子力防災に関するホームページのアドレス



○ 京都市防災ポータルサイト
<https://www.bousai.city.kyoto.lg.jp/>



○ 京都市の環境放射線モニタリング
<https://www.bousai.city.kyoto.lg.jp/000000165.html>



○ 原子力規制委員会
<https://www.nsr.go.jp/>



○ 京都府環境放射線監視
テレメータシステム (ARIS)
※リアルタイムで空間放射線量を確認できます
<https://www.aris.pref.kyoto.jp/>

京都市行財政局防災危機管理室

〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地

電話 075 (222) 3210 FAX 075 (212) 6790

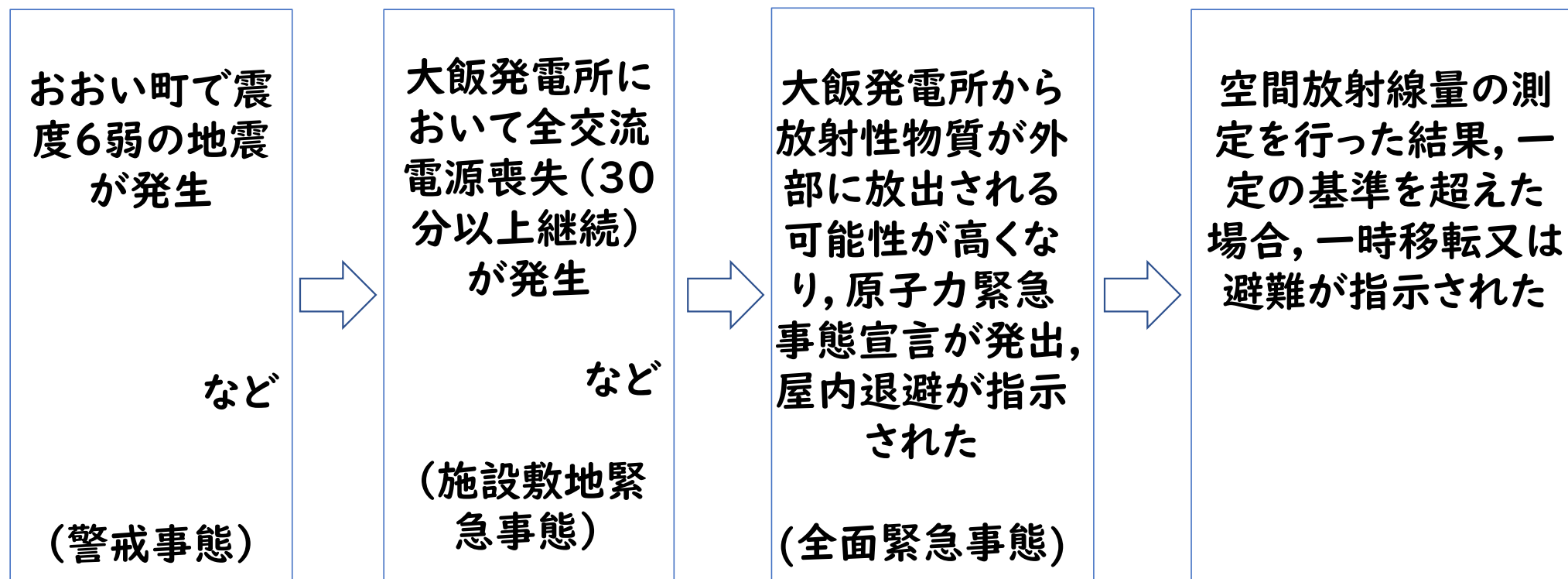
発行年月 令和2年3月 京都市印刷物 第313262号



原子力災害発生時の対応について

放射性物質放出前

放射性物質放出後



今回の緊急放送訓練で想定しているのはこちらです。

平成30年度に実施した原子力防災訓練ではこちらを想定

屋外スピーカー・ 防災ラジオの緊急放送 の訓練を行います。

防災ラジオは、大きな
音量で流れます。



**日時：令和3年3月23日(火)
午前10時30分から**

- ① 放送のみが流れ、避難訓練等はいりません。
- ② 通常の防災ラジオの設定より大きな音量で流れます。
- ③ 放送時刻と放送文は裏面を御覧ください。放送文は2回流れます。
- ④ 今回の緊急放送の訓練は、大飯発電所から放射性物質が放出される前の対応を想定しています。

《お問合せ先》

京都市行財政局防災危機管理室（担当 ）
（電話）075-222-3210

【電池についてのお願い】

- 普段は、電池を入れ、ACアダプタを接続してお使いください。
（停電時やACアダプタが外れると、電池に切り替わりますが、電池は3日程度で消耗します。）
- 電池は定期的に交換をお願いします。緊急放送の訓練に伴い、配付される電池をお使いください。

裏面に続きます。

放送時刻と放送文

放送時刻	想定	放送文
10時30分	おおい町で震度6弱の地震が発生	(チャイム) 訓練。訓練。こちらは京都市です。大飯発電所がある福井県おおい町で、震度6弱の地震が観測されました。現在、大飯発電所での異常の情報はありますが、今後の情報に御注意ください。 (チャイム)
10時45分	大飯発電所において全交流電源喪失(30分間継続)が発生	(チャイム) 訓練。訓練。こちらは京都市です。福井県にある大飯発電所から、今後、放射性物質が放出される可能性があります。次の地域におられる皆さんは、自宅へ帰宅するなど、屋内退避の準備をしてください。左京区広河原地域。現在、放射性物質は外部に放出されていません。落ち着いて準備してください。観光等でこの地域におられる皆さんは自家用車等で帰宅できる場合は帰宅してください。今後の情報に御注意ください。 (チャイム)
11時00分	大飯発電所から放射性物質が外部に放出される可能性が高くなり、国が原子力緊急事態宣言を発出、屋内退避が指示された	(チャイム) 訓練。訓練。こちらは京都市です。福井県にある大飯発電所から、今後、放射性物質が外部に放出される可能性が高くなり、国は原子力緊急事態宣言を発出しました。次の地域に、屋内退避の指示がありました。左京区広河原地域。この地域におられる皆さんは、屋内退避を行ってください。屋内退避の指示が解除されるまでの間、屋内で生活してください。家の窓や扉を閉め、換気扇を止めて、外気の侵入を防ぎましょう。今後の情報に御注意ください。今回の訓練はこれで終了します。 (チャイム)

防災ラジオに関するアンケート

住所	広河原 _____ 町			
氏名(世帯主)				
ラジオ番号 (京都市記入欄)	M 1 9 0 3 1 0			

3月23日、屋外スピーカー・防災ラジオの緊急放送訓練を実施します。

御自宅の防災ラジオの受信状況を確認し、設問への記入をお願いします。屋外スピーカーの音声が確認できた場合は、併せて記入をお願いします。

1 屋外スピーカーの緊急放送訓練の音声は聞こえましたか？

(いずれかに○)

聞こえた ()
 聞こえにくかった ()
 聞こえなかった ()
 不在にしていたため、わからなかった ()

2 防災ラジオの緊急放送訓練の音声は聞こえましたか？

(いずれかに○)

聞こえた ()
 聞こえにくかった ()
 聞こえなかった ()
 不在にしていたため、わからなかった ()

※ 防災ラジオの受信状況の確認のため、個別に御連絡させていただきます。

3 防災ラジオは御自宅のどこに置かれていますか？

(いずれかに○又は記入)

窓際 ()
 その他 ()

裏面に続きます。

